

保護者様

富士市立富士中央小学校
校長 望月 和洋

令和4年度 第2回「学校評価」集計結果の報告

立春の候、保護者の皆様には、日頃より本校の教育に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、冬休み前に9月から12月前半までのお子さんの様子や御家庭における保護者の皆様の取組、富士中央小の教育活動を振り返り「学校評価」をしていただきました。その集計が完了しましたので、御報告させていただきます。今回は、第1回と比較をしながら成果と課題を明らかにしました。この結果を今後の教育活動に生かし、子どもたちのより良い成長を目指して、家庭と地域、そして学校が手を携えこれまで以上に連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

第2回学校評価 共通・類似質問事項 肯定的な回答の割合

※（ ）は前期との比較、**太字**は目標の対象

※数値は四捨五入して提示

共通・類似質問事項 ()内は類似した保護者又は教師への質問		グランドデザインの数値目標	児童	保護者	教師
①	学校生活は楽しいですか。 (よい表情で学校に行っている。)	92	95(+5)	95(2)	100(0)
②	授業はよく分かる。(授業をよく理解している。)	90	85(-2)	84(0)	96(0)
③	先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。(伝えられている。)	74	75(+2)	75(+2)	48(0)
④	家で、自分で計画を立てて勉強している。 (計画的に勉強している。)	富士市の到達目標 65	73(+2)	58(+1)	48(0)
⑤	自分の好きな学習がある。	98	94(0)	94(0)	100(0)
⑥	もっと知りたい、もっと学びたいことがある。	88	86(0)	86(0)	100(0)
⑦	ICT機器を授業で活用している。	95	89(+2)	71(+2)	100(0)
⑧	1か月に7冊以上読書をしている。 (進んで読書をしている。)		76(+4)	52(0)	89(0)
⑨	自分のことを大切にしている。	95	91(+2)	96(+1)	100(0)
⑩	友達のことを大切にしている。	98	99(+2)	98(+1)	96(0)
⑪	自分から進んであいさつをしている。	88	85(+1)	79(+1)	70(0)
⑫	自分から進んで係・委員会活動を行っている。	88	88(+1)	91(+5)	92(-4)
⑬	友達と運動することが楽しい。	95	94(+3)	91(0)	92(+3)
⑭	運動にあきらめずに挑戦している。	88	85(+2)	81(+1)	62(+3)
⑮	学校生活の中で安全に気を付けて生活している。	96	92(+3)	92(+1)	56(0)
⑯	困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる。	95	76(+8)	88(-1)	
⑰	富士中央小学校は、安心して子どもを任せられる。			99(0)	

※⑤⑥の質問は、今年度からの項目になります。⑧の質問は、昨年度は8冊以上で質問しています。

★学校生活全体に関して

「学校は楽しい。」「よい表情で学校に行っている。」は、児童・保護者がともに95%、そして全教員が肯定的に捉えています。児童の数値は前期から、5%上がっています。日々の学習や生活、また児童会活動や行事などをその都度検討しながら、できる活動を増やし取り組んできた表れだと考えます。今後も子どもたちが主体的に取り組めるように共に考え、「自分の居場所はここにあると思える、温もりの学校」を築いていけるように、子ど

もたち一人一人を大切に思い、支えていきます。

★授業や学習面に関して

今年度は、年度当初に予定していた通り3回の授業参観を実施することができ、子どもたちが一生懸命学んだり、友達と関わり合ったりする姿を見ていただくことができました。

日々の授業では、話し合い活動やグループ活動、実技や実験など、新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながら、できる活動を増やしています。体験を通した学び、実感を伴った学びの場を今後も大切にしていきます。

また、同時にICTを活用した授業の工夫も進め、授業の充実を図ったり、欠席児童に対するオンライン授業にも取り組んだりしてきました。「先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。(伝えられている。)」 「ICT機器を授業で活用している。」は、前期より数値が上がっています。子どもたちは、自分の思いや考えを伝える手段の一つとしてタブレットを上手に扱い、学びを深めています。今後も、ICT機器を扱うスキルを高めるだけでなく、情報モラルに関する学習も大切にしていきます。

前期と同様に「家で、自分で計画を立てて勉強している。(計画的に勉強している。)」は、子どもたち(73%)と保護者の皆様(58%)・教師(48%)との間に大きな差がありました。第1回学校評価のまとめでもお伝えしましたレインボーノート研究会の掲示物を多くの児童が見ている姿からは、学びに対する意欲も感じることができます。宿題やチャレンジノートの取り組みについて、今後のさらなる工夫や検討を進めていきます。

★挨拶、係・委員会などの活動に関して

「自分から進んで係・委員会活動を行っている。」では、児童と保護者の数値が前期より上がっています。学級や学校をより良くしていこうと頑張っている子どもたちの表れです。対面式のお店の形式で行ったレインボーフェスティバルでは、一人一人が自分の役割を果たそうとした成果がお客さんの楽しみにつながっていました。思いやりを広げたり、あいさつを増やそうとしたりするなど、各委員会が進めるチャレンジ活動にも新しい工夫が見られます。今後も、子どもたちの活躍や成長を促していけるように接していきます。

★運動・安全面に関して

運動・安全面に関する項目では、すべてにおいて前期より数値が上がっています。上記でも述べたようにまだコロナ禍ではありますが、できる活動が増えてきている中で、子どもたちの思いも変化しているのだと思います。体育科の授業でもタブレット等の使用から、学びの楽しさや達成感が味わえるような工夫も続けていきます。

安全面については、生徒指導主任や校長を中心にお昼の放送で呼び掛けたり、各学級担任が発達段階に合わせた指導をしたりしています。今後も保護者や地域の皆様にも協力していただきながら、子どもたちの安心安全な生活を築いていければと思います。

★保護者アンケートの御意見より

本校の教育をより良いものにしていくための御意見や御提案をたくさんいただきました。すべてにお答えすることはできませんが、学校の考えや対応をお知らせします。

・「修学旅行の際、子どもたちの様子の連絡がなく不安に思った。同日に、観光バスの事故もあり余計に不安を感じた。」

→12月に行った6年生の社会科見学の際には、何度か連絡を入れるようにしました。保護者の皆様が子どもたちの様子を不安に思う気持ちは当然のことだと思いますので、今後もこのような行事を行う際には、最低限の連絡をさせていただくようにしていきます。

・「トイレトペーパーがなくなった時に、替えのものが上方にあり、低学年だと届かなくて困るようなので、何か対応をお願いします。」

→南校舎(主に1・2年生が使うトイレ)は、トイレトペーパーホルダーの上部に置けるような台が付いたホルダーが設置されています。しかし、教員間や保健委員会の児童への伝達が十分にされていなくて、高い所にある棚が置かれているのが現状でした。今後は、ホルダー部分の台の上に置くようにしていきます。また、北校舎は高い位置の棚しかありませんので、今後、予算などを考えながら対応していきます。